

基本目標

1

多様なネットワークの力で
市民のニーズを広く受け止め
解決する体制づくり

重点項目1

総合相談窓口の体制整備

方向性

- 1-1 情報を必要な人に届ける取り組みの充実
- 1-2 市民が気軽に相談できる体制づくりとより積極的なニーズの把握
- 1-3 相談を受け止め、対応する力の向上
- 1-4 コーディネーション力の高い専門職の充実
- 1-5 権利擁護支援の充実
- 1-6 大津市における地域包括ケア体制の構築

基本目標

2

一人ひとりが生きる力を
高めあい支えあえる
地域コミュニティづくり

重点項目2

生活困窮者自立支援事業の
推進

方向性

- 2-1 福祉学習の推進
- 2-2 生きる力を育む場づくり
- 2-3 小地域における福祉のまちづくりの基盤強化
- 2-4 災害時にも強い支援体制づくり

基本目標

3

新しい参加とつながりを
生み出すしくみづくり

重点項目3

新たな参加を生み出す
ボランティアセンターの取り組み

方向性

- 3-1 ボランティアやNPO活動の推進
- 3-2 新しい参加者を巻き込んでいく取り組みの推進
- 3-3 地域で活動している人や団体の新しいつながりづくり
- 3-4 地域福祉を協働で進める取り組みの推進

基本目標

多様なネットワークの力で市民のニーズを 広く受け止め解決する体制づくり

主な
現状・課題の
キーワード

誰もが必要な時に
情報を得ることが
できるようしくみづくり

困難を抱えた人が
相談や支援につながる、
身近な地域の
見守り機能の強化

相談にあたる
職員等のスキルアップと
地域と専門職などの
ネットワークの強化

地域福祉権利擁護事業、
成年後見制度等の受け皿や
相談支援にあたる
人材の不足

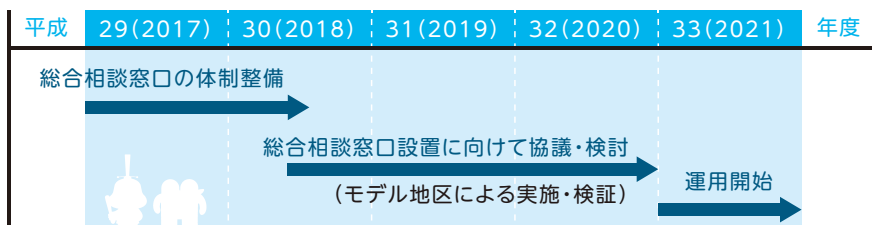
重点項目1

総合相談窓口の体制整備

高齢者、障害のある人、子育て家庭、悩みを抱えた若者、生活困窮者など、多様で複雑な福祉課題を抱えた人が市内に多くなる中で、誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるよう、必要な支援に的確・迅速につなぐことが重要になっています。

こうした、多様で複雑な相談を、分野を問わず、専門職や地域の皆さんと連携を図りながら、身近な場所で気軽になんでも相談ができる総合相談窓口を定期的に開催できるよう体制の整備を図ります。

ロードマップ



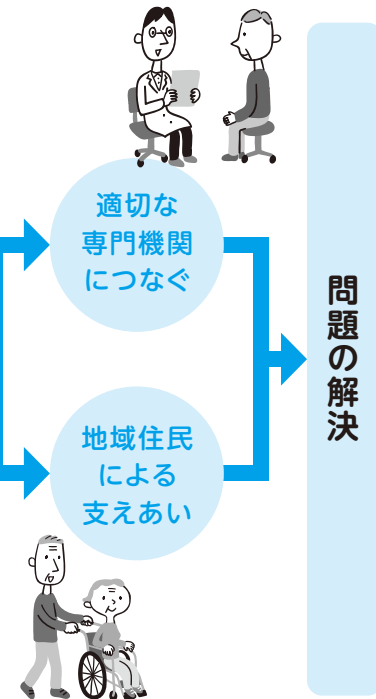
総合相談窓口のイメージ

さまざまな困りごとを抱えている人・家族

- 家族
- 障害
- 介護
- 子育て
- 教育
- 仕事
- 家計

身近な窓口(支所等)
総合相談窓口

- 行政
- 社協
- 福祉施設
- 専門職
- 民生委員
- NPO
- 医療関係
- 司法関係



計画的に取り組むこと

1-1 情報を必要な人に届ける取り組みの充実

身近な相談窓口等の情報提供を行うとともに、さまざまな媒体を活用し、情報を必要な人に届ける取り組みを充実します。

1-2 市民が気軽に相談できる体制づくりとより積極的なニーズの把握

相談者が気軽に相談できる環境を整備するとともに、困っている人への訪問を行い、サポートするしくみをつくりまします。

1-3 相談を受け止め、対応する力の向上

困っている人が安心して相談できる環境づくりのために、初期相談を受ける職員や民生委員児童委員等の対応力の向上を図ります。

1-4 コーディネーション力の高い専門職の充実

生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーター等の役割を広く周知し、人と専門職、そして地域を結びつける力を育てます。

1-5 権利擁護支援の充実

障害のある人への支援や高齢化社会を見据えた権利擁護の取り組みを充実させ、要支援者一人ひとりの権利が守られる体制を整備します。

1-6 大津市における地域包括ケア体制の構築

すべての市民が、地域でその人らしく生きることができるよう、当事者や介護者を中心として、医療・介護・専門職等の各団体が連携し、課題解決に向けて、切れ目のないサービスが提供できる地域包括ケアを推進します。

市の取り組み

①福祉情報をよりわかりやすく届けます

- ①地域で、気軽に相談できる環境(場)を整備します
- ②相談に幅広く対応できる連携体制をつくりまします

①相談に関わる人々の相談力を高めます

①コミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーター、生活支援コーディネーター等が充実するよう支援します

- ①地域の権利擁護体制を整備します
- ②成年後見制度・地域福祉権利擁護事業の利用を促進します
- ③虐待の防止と対応の充実を図ります
- ④困難を抱える人々への支援の充実を図ります

- ①介護保険制度における地域包括ケアシステムを推進します
- ②すべての市民が必要なケアを包括的に受けられる体制を検討します

市社協の取り組み

①本当に必要な人の手元まで福祉情報を届ける工夫をします

- ①地域に出向き課題の掘り起こし(アウトリーチと地域アセスメント)に努めます
- ②相談機関、関係機関との連携の強化を図ります

①地域の中での相談力の向上を図ります

①コミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーター、生活支援コーディネーター等の充実と質の向上を図ります

- ①その人らしく地域で生活するための権利擁護のしくみづくりに努めます
- ②権利擁護関係機関などとの連携強化を図ります

- ①誰もが参加できる地域包括ケアに向けた地域力の向上を目指します
- ②地域での助けあい、支えあい活動の把握と連携の充実を努めます

基本目標

2

一人ひとりが生きる力を高めあい支えあえる 地域コミュニティづくり

主な
現状・課題の
キーワード

市民が地域のさまざまな
課題に気づき、
その解決に向けた
方法を学ぶことが必要

地域の中で
お互いさまの気持ちで
助けあえる力を
育てることが大切

中高生や大学生といった
若者の参加に向けた
しくみづくり

身近な相談、見守り活動の
要となる自治会や
学区社会福祉協議会の
取り組みが重要

重点項目2

生活困窮者自立支援事業の推進

平成27(2015)年4月に施行された生活困窮者自立支援事業に基づき、経済的困窮に陥った方、地域や社会から孤立している方への支援や子どもの貧困対策等に取り組むと同時に、一人ひとりの受援力を高め、助けあえる地域づくりを進めています。

これまでの活動を活かし広げること、地域や当事者の力を借りながら、協働と連携により支援を進めること、相談者自身の力を活かし、一人ひとりにあった支援を行うことが大津市の取り組みの特徴として挙げられます。

今後も、地域福祉の視点で地域のネットワークを活かし、支援の輪を広げながら、生活困窮者自立支援事業を推進します。

大津市における生活困窮者支援

ネットワーク型の支援・伴走型の支援

相談者一人ひとりの思いに寄り添った伴走型の支援に向けて、関わる組織・団体の協働と連携により進めます。

地域の力を支援につなげる取り組み

就労に向けたステップアップの場として就労体験や中間的就労を推進します。また、ひとりの課題を地域の課題とし、支えあうしくみを広げます。

一人ひとりの生きる力を高める居場所づくり

子どもが信頼できる大人や若者に出会う機会となるよう、学習支援とあたたかい居場所づくりを進めます。また、仲間づくりなどを通じて一歩前へ進む自信を育てる取り組みを進めます。

